

かどうぜきかいらんばん 可動堰回覧板

平成24年7月1日号 (No.84)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今号は可動堰改築に伴う高水敷造成工事の紹介と大河津可動堰魚道遡上効果調査についてお知らせします。

しゅんせつ ポンプ浚渫船 ただいま稼働中 ～高水敷の造成 いよいよ本格化へ～

大河津可動堰の改築工事は、現在、右岸側の旧可動堰の下流部で高水敷を造成するための工事を進めています。

造成に使用する土砂は、既に仮置きしてある発生土砂を有効活用するほか、可動堰の上流部の川底の砂を「ポンプ浚渫船」で掘削し利用することで、高水敷の造成とあわせて、洪水に対する流下能力の向上を図ることとしています。

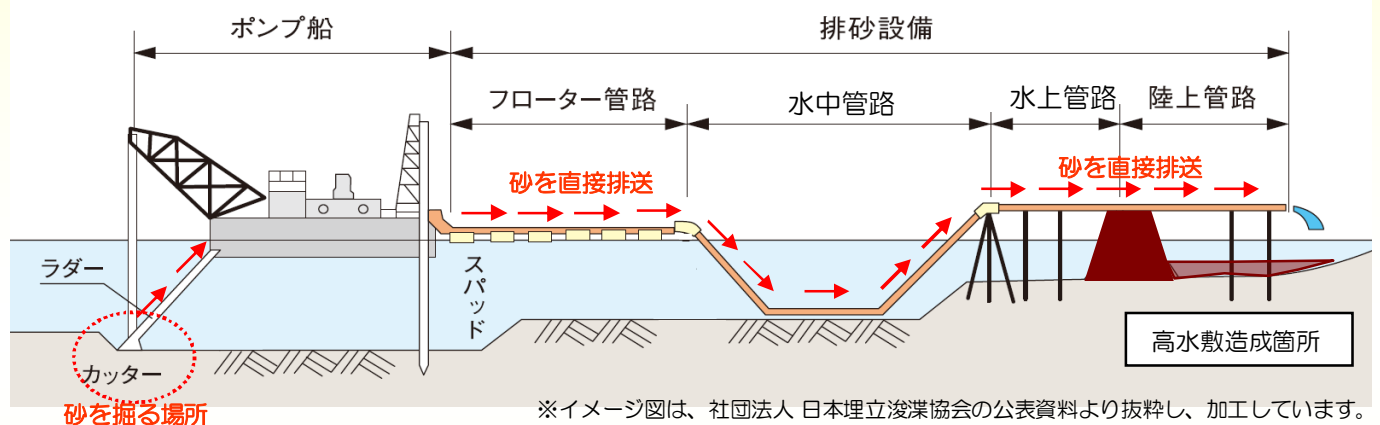


掘削作業中のポンプ浚渫船

ポンプ浚渫船による作業イメージ



船から吊りおろした吸入口から砂と水をポンプで吸い込み、船のうしろにつないだ排砂管というパイプで掘った砂を造成箇所まで直接排送するんだ。たくさんの砂を早く運べるんだね。



※イメージ図は、社団法人 日本埋立浚渫協会の公表資料より抜粋し、加工しています。



◆ この浚渫作業は、約50万立方メートルの砂を掘削し、右岸高水敷の造成を行うこととしています。作業期間は24時間体制で平成25年春までかかる予定です。

◆ 地域の皆様におかれましては、引き続き、工事に対するご理解とご協力をお願い致します。

写真①：ポンプ浚渫船（第十五長良丸）三重県から運搬。総トン数は、160 t。浚渫能力は、時間当たり140立方メートル。

写真②：砂を排送するための排砂管。直径400mm。

写真③：造成箇所の状況。水と砂を直接排送して、水だけを別のポンプで排水することで、高水敷を造成します。

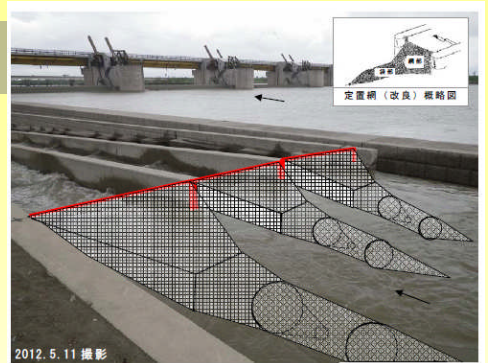
写真④：浚渫船団の係留施設。機械の調整や洪水時の船団の退避場所として、左岸側に設置。

大河津可動堰魚道遡上効果調査を行いました!

大河津可動堰改築事業に伴う環境への影響を検証するためのモニタリング調査の一環として、6月12日(火)に可動堰左岸魚道の遡上効果調査(調査時間5:00~8:00)を実施しました。

今回の調査では、全体で760匹の遡上を確認し、内訳は稚アユ757匹、ヨシノボリ3匹となりました。

今後も引き続き遡上調査を実施していくほか、魚道の下降調査も実施していきたいと思っております。



魚道遡上調査のイメージ

～調査状況～

可動堰には、魚の遊泳形態・遊泳能力に合わせた3種類(底部阻流角材式、傾斜隔壁式、傾斜隔壁式(ハーフコーン型))の魚道が左右岸に設置されています。

今回の調査では、底部阻流角材式の魚道でたくさんの稚アユが確認され、捕獲された稚アユは7cm程度で2~3グラム/匹の大きさでした。



左:底部阻流角材式
中央:傾斜隔壁式
右:傾斜隔壁式(ハーフコーン型)



傾斜隔壁式(ハーフコーン型)を遡上する稚アユ



魚道上部に捕獲網を設置



底部阻流角材式で捕獲された魚



捕獲した魚の検体を調査

魚の観察は魚道観察室がおすすめです!

信濃川に設置されている洗堰の魚道観察室からは魚が遡上している様子が見えます。大河津分水では稚アユの他にオイカワやウグイなど約30種類の魚が確認でき、魚道観察室の中から魚を狙うサギが見えることも。一生懸命川を上る魚の姿をご覧ください!

魚道観察室は毎日9:00~16:00まで利用できるよ! 洪水で魚道窓が汚れてしまったり、観察室が閉鎖されることもあるので注意してね。



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧ください。また、バックナンバーも合わせてご覧ください。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>